

鶴沼高校サタデープログラム特別回

「多言語世界にふれる異文化理解プログラム」

フェリス女学院大学

概要

多くの高校生が「グローバルな言語」と聞いて思い浮かべるのは、英語なのではないでしょうか。この視点は、世界観を狭めてしまう可能性があります。大学に入学すると、英語以外の様々な外国語を学ぶ機会に恵まれます。このプログラムでは、大学から始まる多言語世界に触れるきっかけをつくります。そして、グローバル社会における自分のキャリアの道筋を探し始めるようになることを目指しています。

フェリス女学院大学は、英語以外の言語習得およびそれに伴う異文化理解を重視しています。これが「語学のフェリス」たるゆえんです。このプログラムでは、各外国語の担当者がその言語のグローバル社会における役割や歴史の厚さについて講義します。それぞれの言語の修得がどのようにキャリアにつながるのかを学び取りましょう。

スケジュールと各回の講義内容

▶① 5月25日（土）

○英語だけがグローバル言語ではない！

ここ15年ほどで、あっという間に英語だけが「グローバル言語」であることが定着してしまいました。しかし、世界で最も話者が多い言語は英語ではないのです。また、英語並みに話者が多い言語もあります。さらに、「グローバル言語」としての資格を持つ言語は（英語以外に）複数あります。「英語＝グローバル」という図式から抜け出すと、もう少し気持ちが楽になるかもしれません。まずは、世界の言語地図をみてみましょう。そして、どうして「英語＝グローバル」と思ってしまったのか、その理由も考えてみましょう。

○フランス語

日々フランス語を使用しているのはフランス人だけではありません。国際機関やアフリカ諸国等、様々な国、地域、機関で使用されています。前半はフランス語を通じて、植民地や国際関係、移民問題等、社会の様々な側面を紹介します。

後半は、宇宙から空港、ラグジュアリーブランド、グルメまで、フランス語が使用されるビジネスの現場を紹介します。また、コミュニケーションの基本となる初歩的なフランス語も学びます。

▶② 6月22日（土）

○韓国語

日本語を表記するときにひらがな・カタカナなどを使用するように、韓国語では主にハングルを使用します。ハングルは「偉大な文字」という意味で、朝鮮王朝時代に作られました。この授業では、まずハングル創製の背景やこの文字の基本的な構造を紹介します。その後、朝鮮王朝とはどのような時代だったのか、文化面を中心に概観します。ドラマのイメージとは異なる朝鮮王朝の実像に迫りたいと思います。

○中国語

日本と中国の関係には長い歴史があり、現在、とても密接になっています。しかし関係が深いわりには、「一党独裁の怖い国」といったイメージが先行し、「リアルな中国」についてはあまり知られていません。そこで、1時間目は、日中関係や中国の日常などについてお話をし、興味関心をひろげてもらいます。具体的には、中国・中国人へのイメージ、日中関係、中国経済と日本：日本企業の中国進出、中国製品、インバウンド、中国の若者たちについて話します。

2時間目は、中国語の簡単な授業をおこないます。発音が難しいといわれる中国語ですが、コツを知ればそれほどでもありません。実際にチャレンジしてみましょう。

2時間目は、文法原則（中国語でアイラヴユーは？）、発音の特徴（日本語にはない音、声調）、漢詩を中国語としてよむ&中華料理を本格的に発音してみる、などのアクティビティを予定しています。

▶③ 9月21日（土）

○スペイン語

【1時間目】AI翻訳などが発達した時代に、人間が新しい言語を学ぶこと（特に英語以外のさまざまな言語を学ぶこと）の意義について、スペイン語圏の地域研究を専門とする教員の立場から講義し、みなさんと議論します。

【2時間目】映画や歌などを通して、スペイン語とスペイン語圏の文化に触れます。また、それらに触れて抱いた親近感や違和感などを言語化しながら、他者理解や異文化間コミュニケーションのあり方についてみなさんと考えたいと思います。

○ドイツ語

ドイツ語はヨーロッパで最も話されている言語です。EU経済の中心であるドイツにはグローバル企業が多く立地し、キャリアの可能性が広がっています。文化や学問もドイツ語を入り口に深く理解できるものが多く、音楽や医療、法律の道に進む人にも役立ちます。さらに日本では「進撃の

巨人」や「鋼の錬金術師」「葬送のフリーレン」などの人気アニメのキャラクターや技術用語にドイツ語が多用されており、発音に馴染みがある言葉が多いのも特徴です。授業では、ドイツ語を学んでビジネスとクラシック音楽の世界に羽ばたいた先輩の体験談を交えながら、ドイツ語をキャリアに結びつける方法をお話しします。

▶④10月26日（土）

○振り返り

今回のレクチャーシリーズの振り返りを行います。各回でみなさんに書いてもらったコメントへのフィードバックなどを行う予定です。そして、このシリーズの学びを振り返ります。いくつかの重要な書籍や Web サイトも紹介する予定です。